

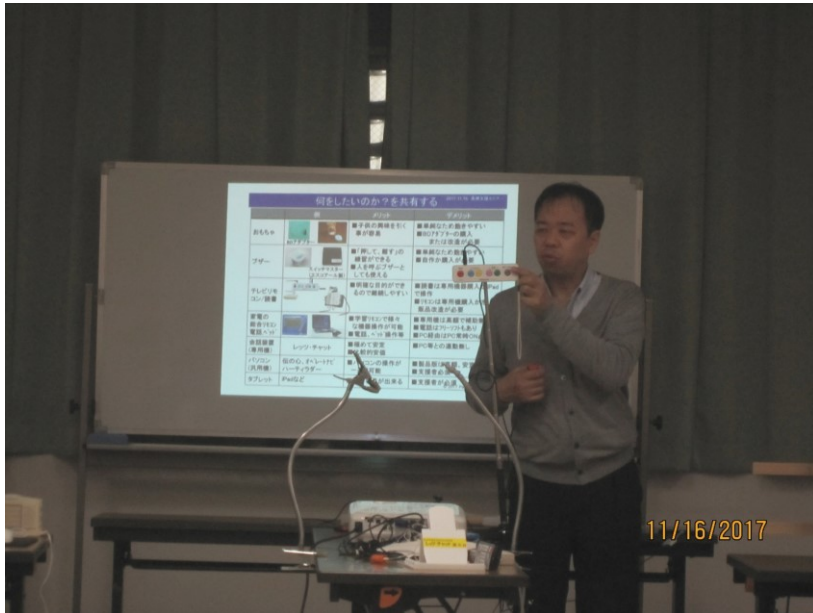
テーマ：意思伝達装置「レッツ・チャット」と高齢者、障害者向け
テレビリモコン「レッツ・リモコン」
およびそれら进行操作するための入力スイッチの適合ノウハウご紹介

講師：パナソニックエイジフリー株式会社 ケアプロダクツ事業部営業企画 G 松尾光晴氏

H29.11.16 PM19:00-20:30 ハートセンター5階パソコン室

講師:1名 参加者:9名 NPO:3名 計:13名

【内容】



今回のテーマは、「意思伝達装置「レッツ・チャット」と高齢者、障害者向けテレビリモコン「レッツ・リモコン」およびそれら进行操作するための入力スイッチの適合ノウハウご紹介」と題し、パナソニックエイジフリー株式会社 ケアプロダクツ事業部営業企画 G 松尾光晴氏が講師で、本セミナーではこれらの製品の特徴およびその操作のための入力スイッチの導入手順などを判りやすく紹介を伺った。

特に機器など導入するにあたり、車〔機器やソフト〕と免許〔スイッチ選択の導入の選択〕にたとえた話の中で、優先すべき事としてスイッチの導入の優先の大切さや

導入までのきっかけづくりの手順は非常に参考になりました。

また、機器等の選択に対しての例えとして、ユーザーに対する周辺環境も含めた話の例えで、食材〔情報や支援ツール〕と料理のレベルの選択〔サポートや支援技術力〕に何に重きを置き、ユーザーにとってベストで安心して、長く使えるものの大切さを改めて考えなければと勉強の見直しになりました。

スイッチ導入の基本は普段の生活の中からのツール見つけを、助ける事からフッティングであり、興味の延長をつなぐことで、意欲や周辺の整備することで、意思伝達の環境などが整うと感じました。

大事なのは電子機器などのOSに安定過ぎない、安定感や耐久性の信頼、シンプルさなどの点、携帯性も導入する選択のカギと感じました。ユーザーの方への心身の負担が少ないこと、長期に使えることなど、ユーザー目線をきちんと支援した物が残るような気がしました。

マイスイッチというホームページも立ち上げられ、いろんな症例への事例も参考になりました。

【アンケート回答】

A.内容に対する感想の度合 8/9 回答

大変参考になった 7件 参考になった 1件

B. 参考になった点や判りにくい点などの感想

- 分かりやすかった。
- スイッチの使用目的及びスイッチを使ったリハビリ方法が良く分かりました。
- 導入を検討されている方が居たので、今後のステップを考える機会になりました。
- 意思伝達が必要な方やメリット、デメリット、スイッチの選び方など、わかりやすく説明してくれ、とても分かりやすかった。
- 言葉が喋れず、理解があるかどうか、わからない方もいるので、ぜひ使ってみたい。

- 意思伝達装置を導入する際、スイッチの練習をする必要性。
- スイッチを体につけて安定させる。
- センサーを実際に見て、触れた点良かった。
- スイッチの種類がたくさん知らないものも多い。

C. 現在問題抱えている問題点

- 通常の発達障害児（者）と染色体異常児（者）の支援方法の違い
- 知識がなく、出来る事がわからず勉強中です。
- 難病の方などレッツチャットを導入したが、スイッチの選択がうまくいかなかった。

D. 開催に対し、改善・希望内容

- 貴重なお話ありがとうございました。
- 土曜日の昼間希望。

G. 職種分野

医療 4名 福祉 1名

H. 職種 所属・資格等

作業療法士 5名 言語聴覚士 1名 介護
福祉士 1名
児童ディサービス指導員 1名



I. 開催の情報の入手の媒体

お知らせメール 3件 インターネット 1件 知合い・職場 2件 所属機関紙 2件

J. 今後の興味（複数回答あり）

福祉 5件（制度 2件 e-Atc 2件）

福祉情報支援セミナー事業

《福祉情報支援（e-A t c）研修会コース》